

決意宣言

尼崎労働基準監督署管内における労働災害は、関係者のたゆまぬ努力により昨年の死亡災害は、一昨年の2件から1件へと減少見込みだが、いまだにかけがえのない生命が失われている。休業四日以上の子害について減少傾向にあるものの、360人余りの労働者が被災しており、約25%強の減少見込みである。

労働衛生面では、健康診断における有所見者の増加、仕事や職場生活に関する強い不安・悩み・ストレスを感じる労働者が急増するなど、労働者の健康確保対策が急務となっている。

経済情勢も一部では若干回復の兆しはあるものの、依然として厳しく、職場環境にも著しい変化を生じている。

このような状況下にあっても労働現場における「安全第一」という基本理念は不変であり、「働く人の安全と健康を最優先する」という企業風土を定着させることが重要である。経営トップの強いリーダーシップのもと、管理監督者や働く一人ひとりが組織一丸となった取組みを続けていかなければならない。

とりわけ、リスクアセスメントの導入・定着を図るとともに、メンタルヘルス対策の充実など、安全衛生水準のさらなる向上を図ることが重要である。

我々は本互礼会を契機に全ての関係者が心を新たにし、「安全で健康・快適な職場づくり」に向けて全力で邁進することをここに誓うものである。

右、宣言する。

平成二十二年一月六日

平成二十二年尼崎労働基準協会新年互礼会